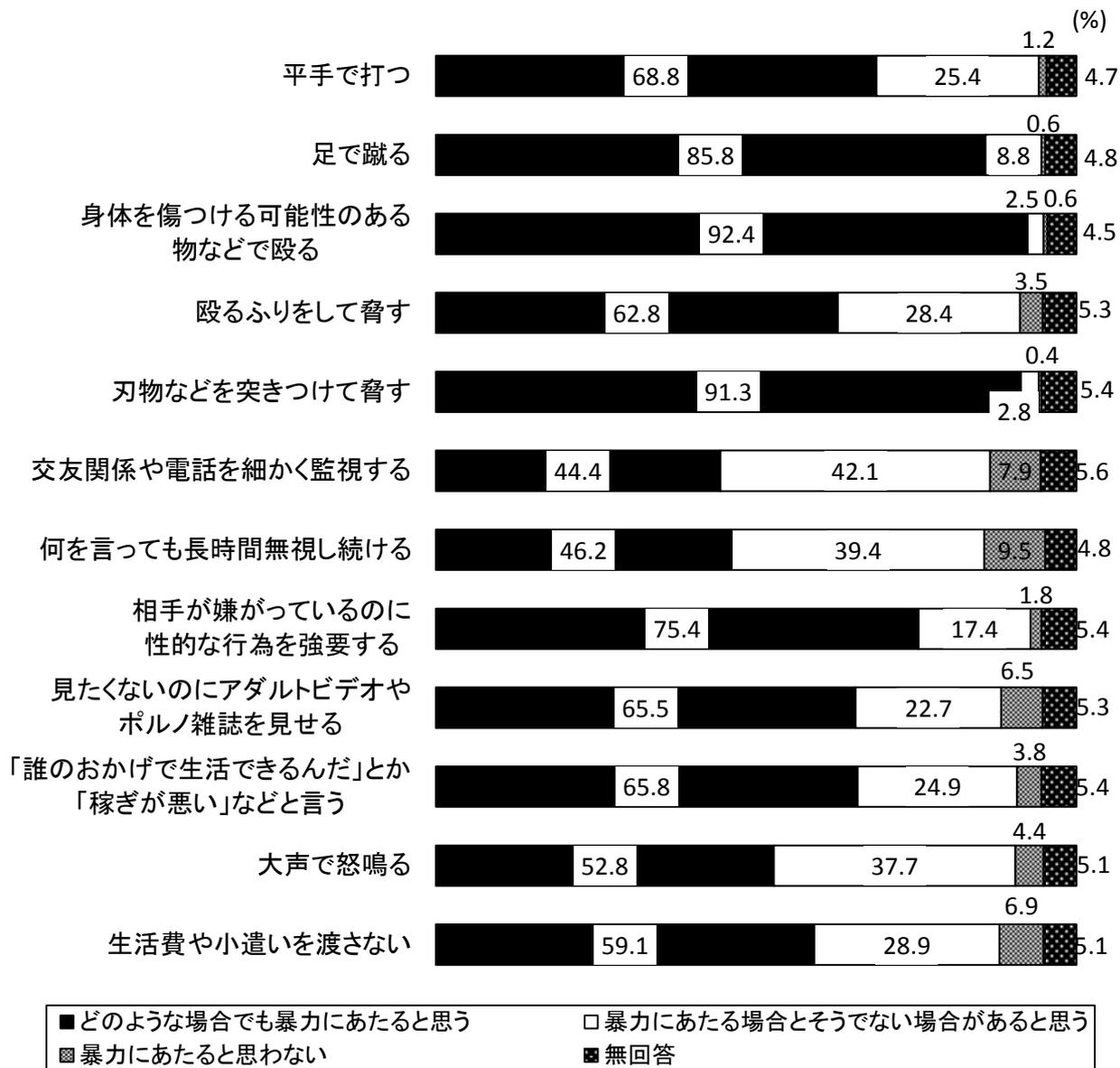


#### 4. DVやセクハラについて

##### (1) 配偶者・パートナー間の暴力について

##### 【全体】

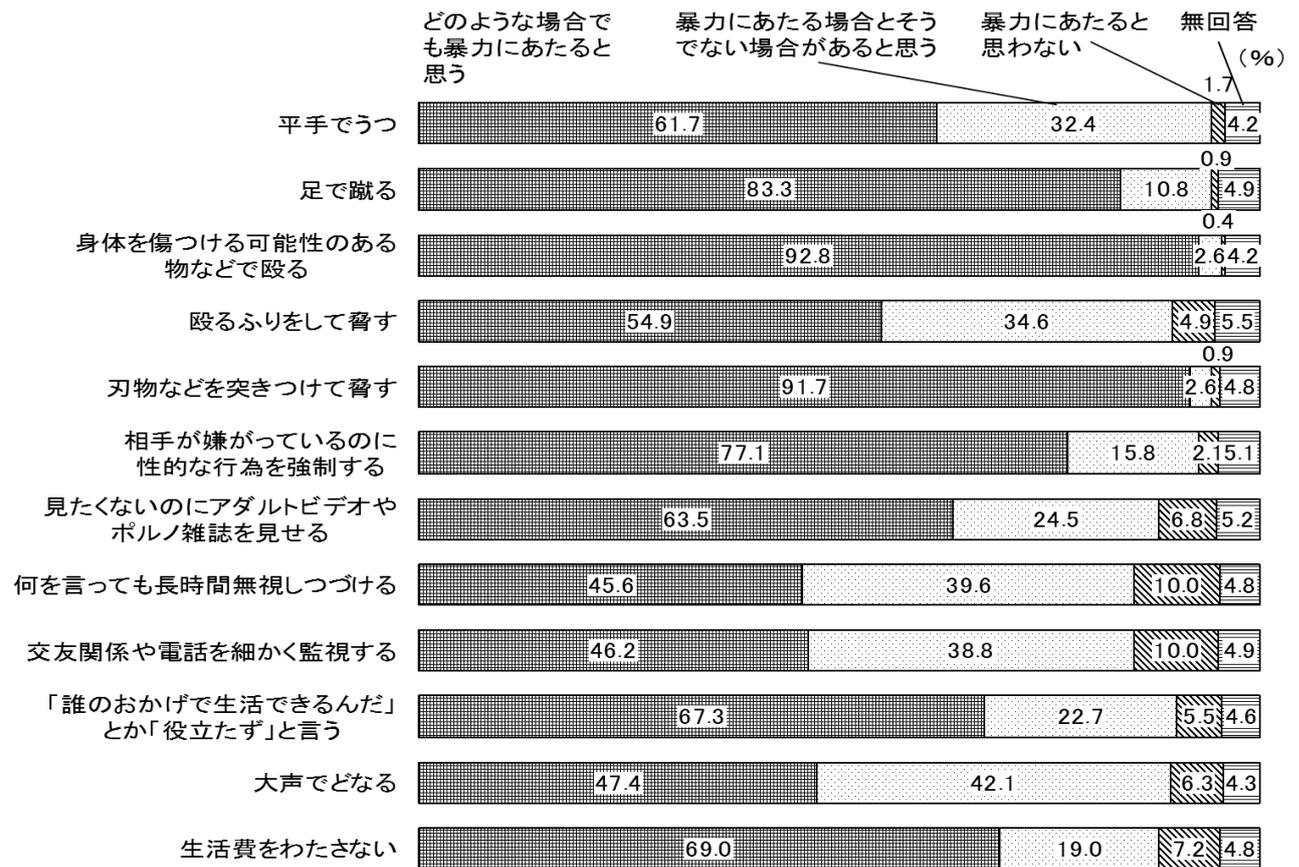
問7 あなたは、次のようなことが配偶者・パートナーや恋人の間で行われた場合、それは暴力だと思いますか。(1)～(12)それぞれについてお答えください。(○は1つずつ)



配偶者・パートナーや恋人間での、どのような行為が暴力にあたると思うかについて、「どんな場合でも暴力にあたる」では、「身体を傷つける可能性のある物などで殴る」、「刃物などを突きつけて脅す」が9割以上となっているのに対し、「交友関係や電話を細かく監視する」、「何を言っても長時間無視し続ける」は50%以下であり、精神的な暴力が認識されていない傾向にある。

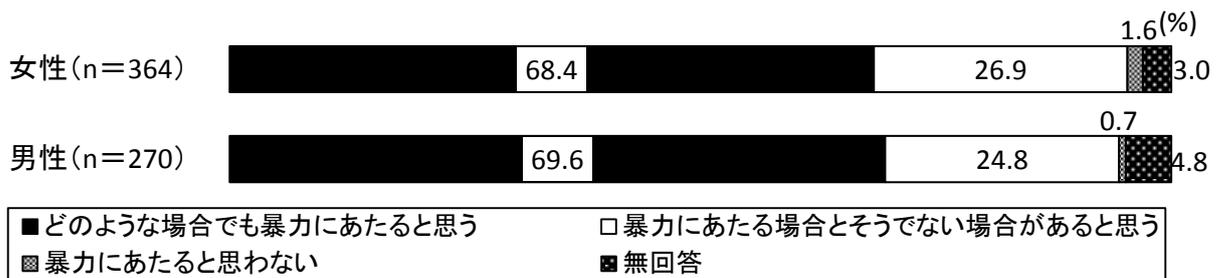
また、「平手で打つ」、「殴るふりをして脅す」を「どんな場合でも暴力にあたる」と考える人の割合は、前回調査より、7.1ポイント(平手で打つ)、7.9ポイント(殴るふりをして脅す)ずつそれぞれ多くなっている。

参考 平成22年11月調査結果



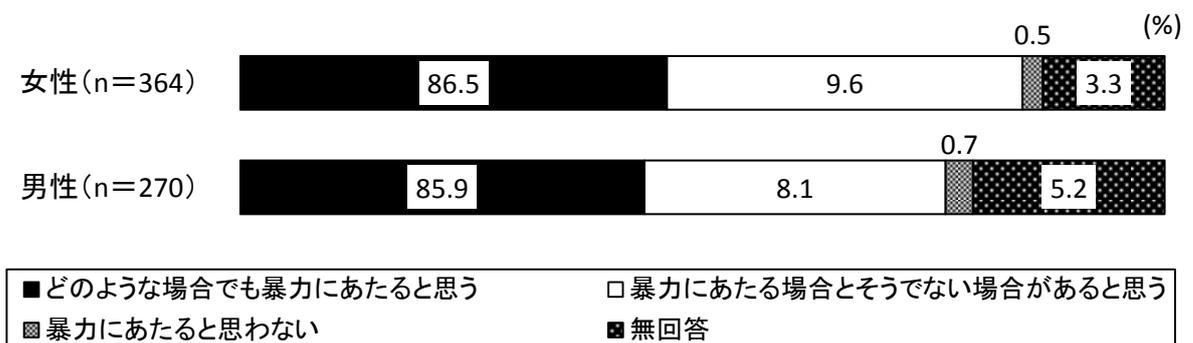
【性別】

① 平手で打つ



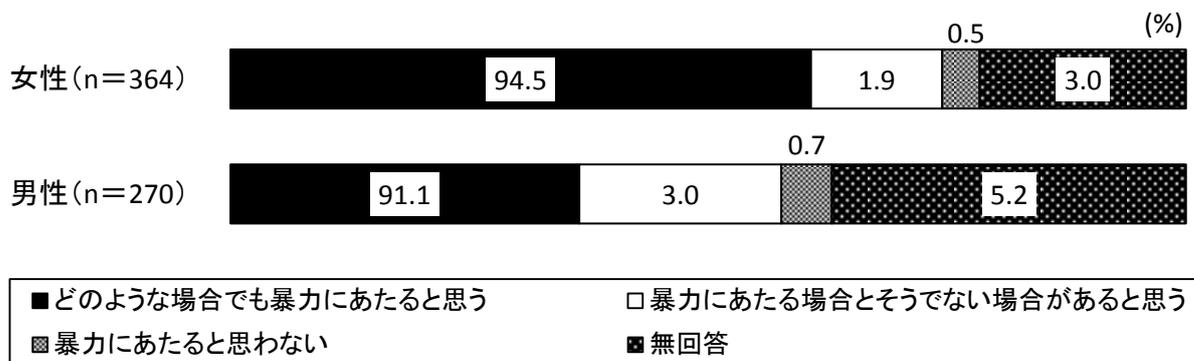
「平手で打つ」という行為を「どのような場合でも暴力にあたる」と思う人の割合で、性別による差は1.2ポイントと小さい。

② 足で蹴る



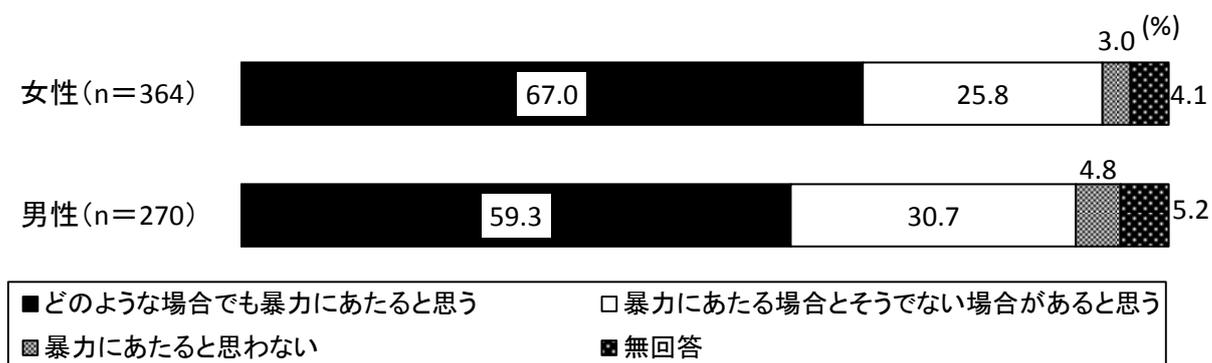
「足で蹴る」という行為を「どのような場合でも暴力にあたる」と思う人の割合で、性別による差は0.6ポイントと小さい。

### ③身体を傷つける可能性のある物などで殴る



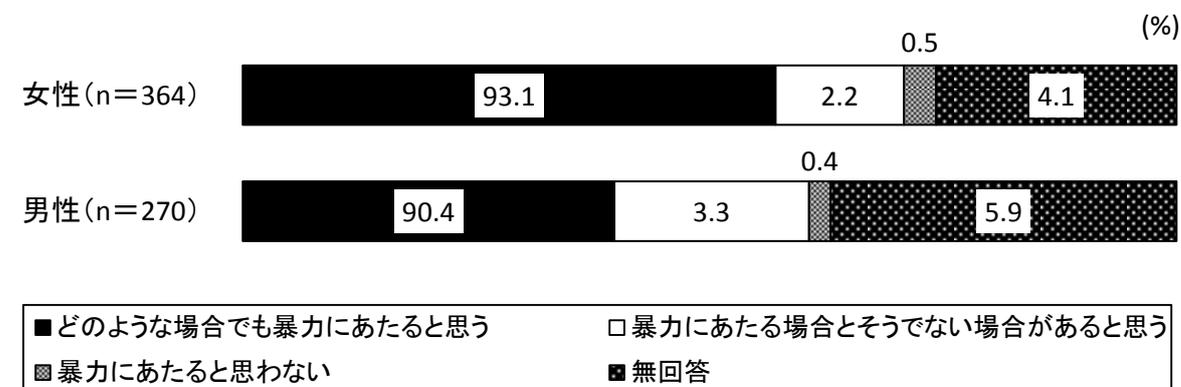
「身体を傷つける可能性のある物などで殴る」という行為を「どのような場合でも暴力にあたる」と思う人の割合で、性別による差は3.4ポイント男性より女性の方が多くなっている。

### ④殴るふりをして脅す



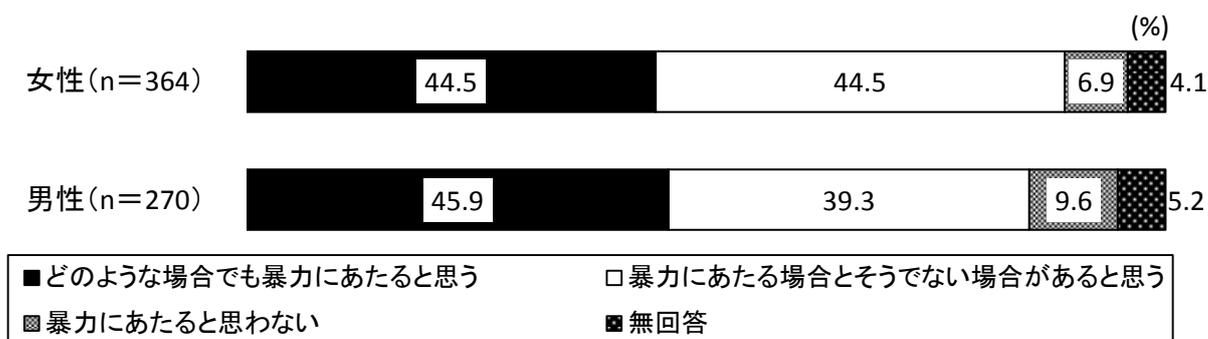
「殴るふりをして脅す」という行為を「どのような場合でも暴力にあたる」と思う人の割合で、性別による差は7.7ポイント男性より女性の方が多くなっており、男女間で認識に差がある。

### ⑤刃物などを突きつけて脅す



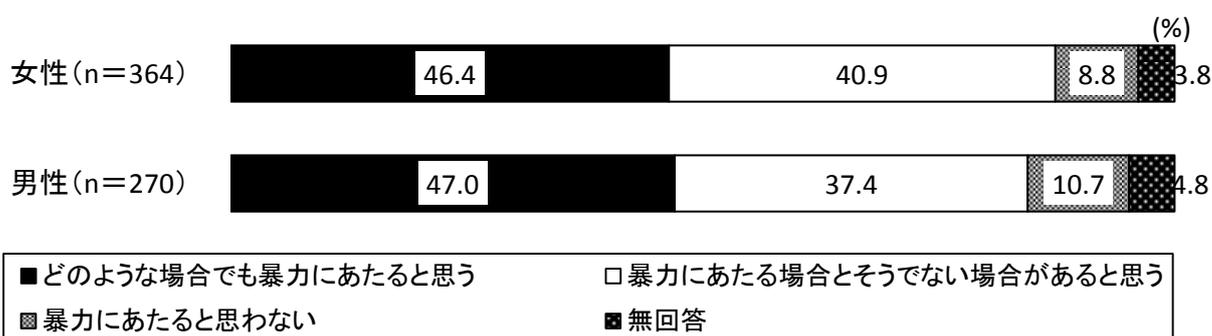
「刃物などを突きつけて脅す」という行為を「どのような場合でも暴力にあたる」と思う人の割合で、性別による差は男性より女性の方が2.7ポイント多い。

⑥交友関係や電話を細かく監視する



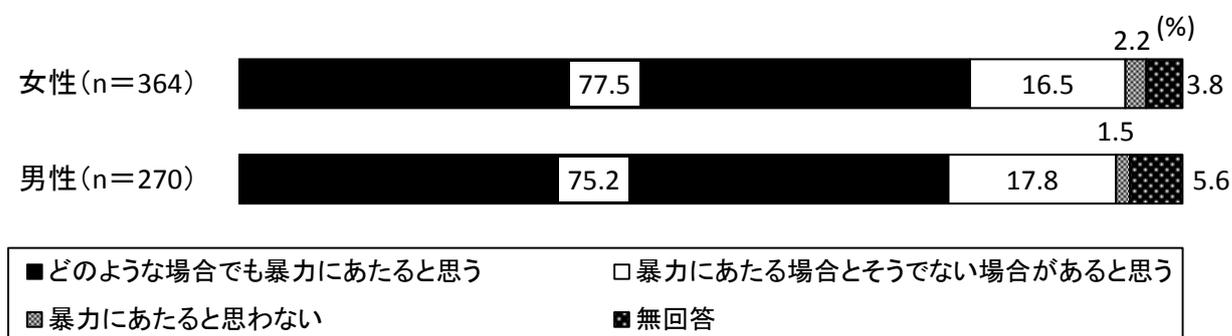
「交友関係や電話を細かく監視する」という行為を「どのような場合でも暴力にあたる」と思う人の割合で、性別による差は1.4ポイントと小さい。

⑦何を言っても長時間無視し続ける



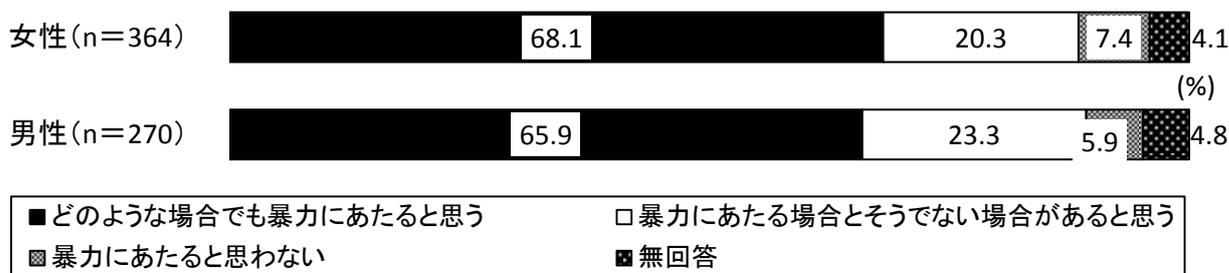
「何を言っても長時間無視し続ける」という行為を「どのような場合でも暴力にあたる」と思う人の割合で、性別による差は0.6ポイントと小さい。

⑧相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する



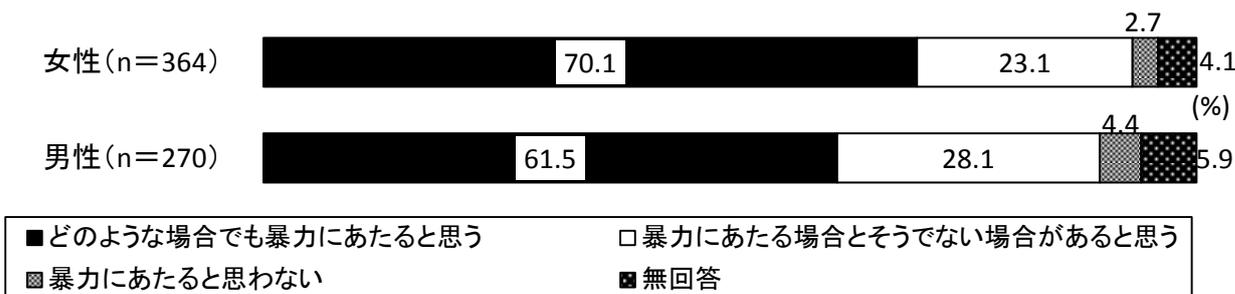
「相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する」という行為を「どのような場合でも暴力にあたる」と思う人の割合で、性別による差は男性より女性の方が2.3ポイント多い。

⑨見たくないのにアダルトビデオやポルノ雑誌を見せる



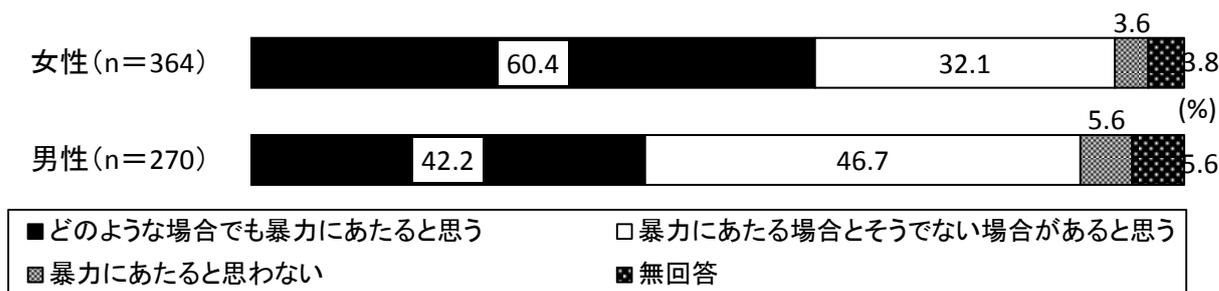
「見たくないのにアダルトビデオやポルノ雑誌を見せる」という行為を「どのような場合でも暴力にあたる」と思う人の割合で、性別による差は男性より女性の方が2.2ポイント多い。

⑩「誰のおかげで生活できるんだ」とか「稼ぎが悪い」などと言う



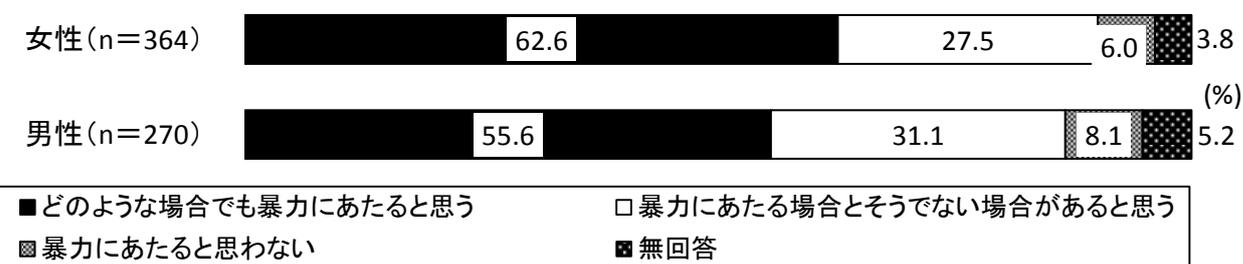
「誰のおかげで生活できるんだ」とか「稼ぎが悪い」などと言う行為を「どのような場合でも暴力にあたる」と思う人の割合で、性別による差は男性より女性の方が8.6ポイント多く差が大きい。

⑪大声で怒鳴る



「大声で怒鳴る」という行為を「どのような場合でも暴力にあたる」と思う人の割合で、性別による差は男性より女性の方が18.2ポイント多く大きな差がある。

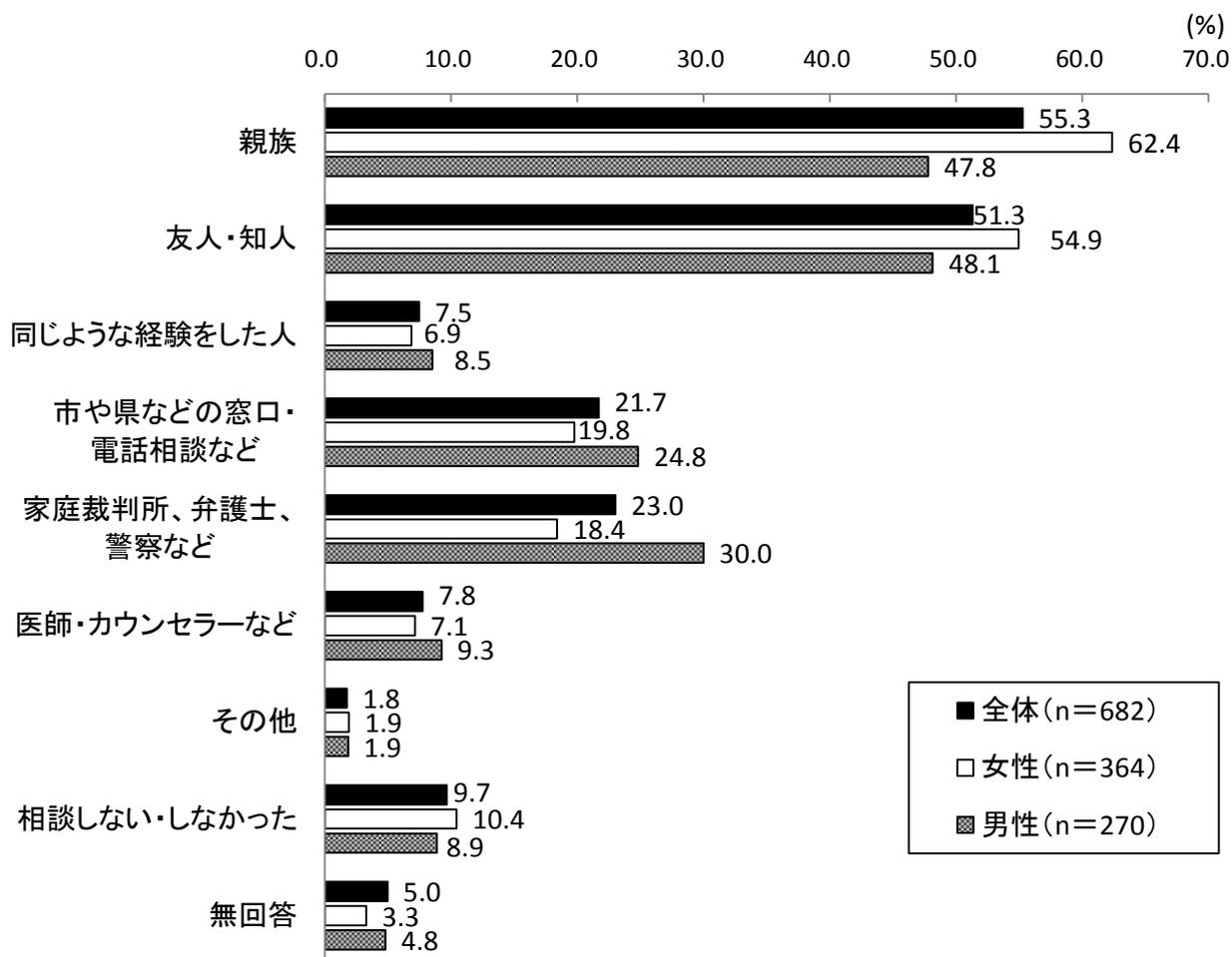
⑫生活費や小遣いを渡さない



「生活費や小遣いを渡さない」という行為を「どのような場合でも暴力にあたる」と思う人の割合で、性別による差は男性より女性の方が7ポイント多い。

(2)DVの相談先  
【全体・性別】

問8(1) あなたが、今後もし暴力を「受けたり、見聞きしたら」、あるいは今までに「受けたり、見聞きしたことがある」場合は、誰に打ち明けたり、相談したりしますか、または相談しましたか。あてはまるものをすべてお選びください。(〇はいくつでも)

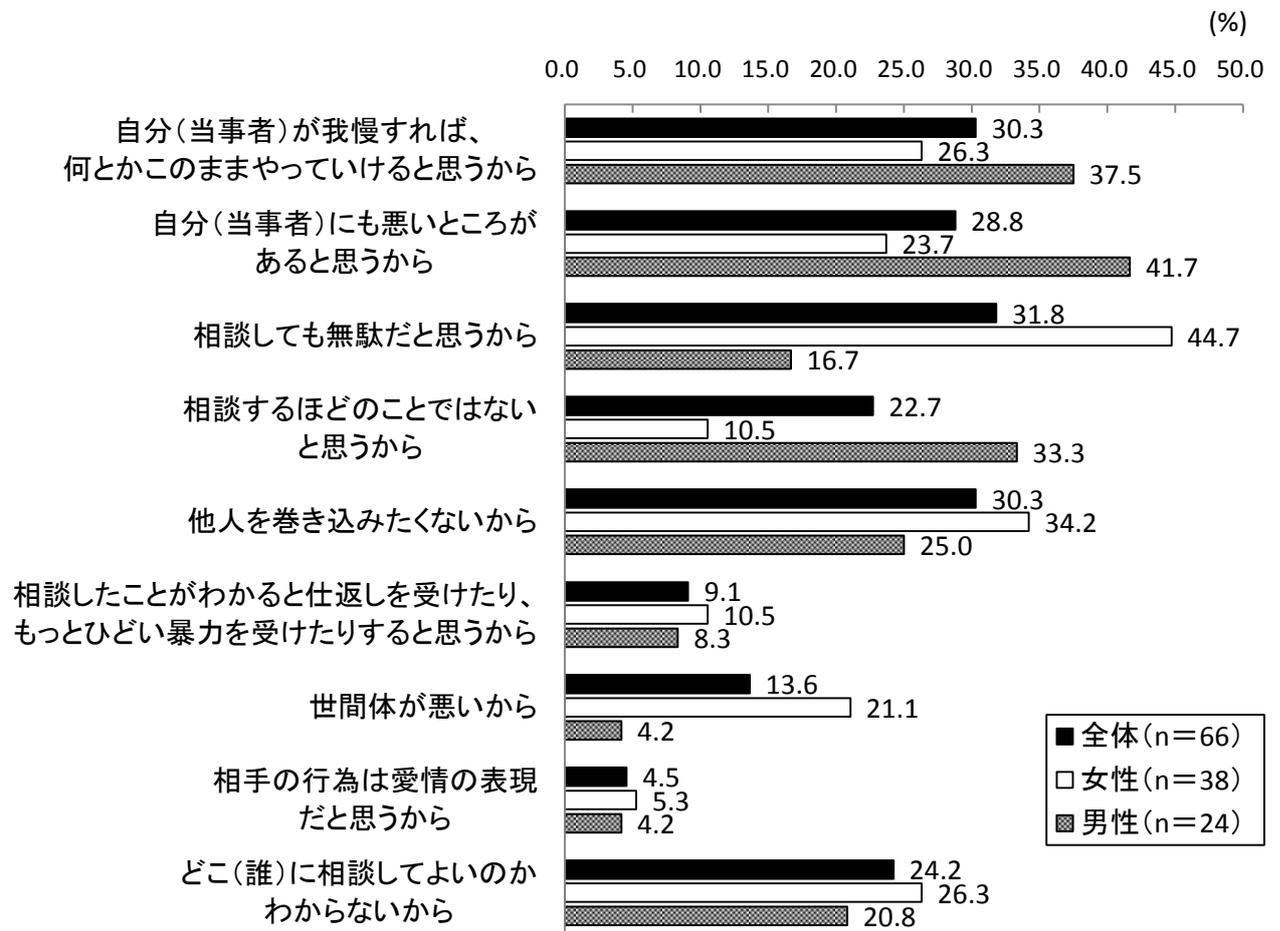


DVの相談先については、全体・女性では「親族」への相談が最も多く、男性は、「親族」、「友人・知人」への相談がほぼ同じ割合である。また、「家庭裁判所、弁護士、警察など」では、女性より男性の方が11.6ポイント多くなっている。

(3) 相談しない・しなかった理由

【全体・性別】

問8(2) 問8(1)で「8. 相談しない・相談しなかった」と回答した方におたずねします。相談しない・しなかったのはなぜですか。あてはまるものをすべてをお選びください。(〇はいくつでも)



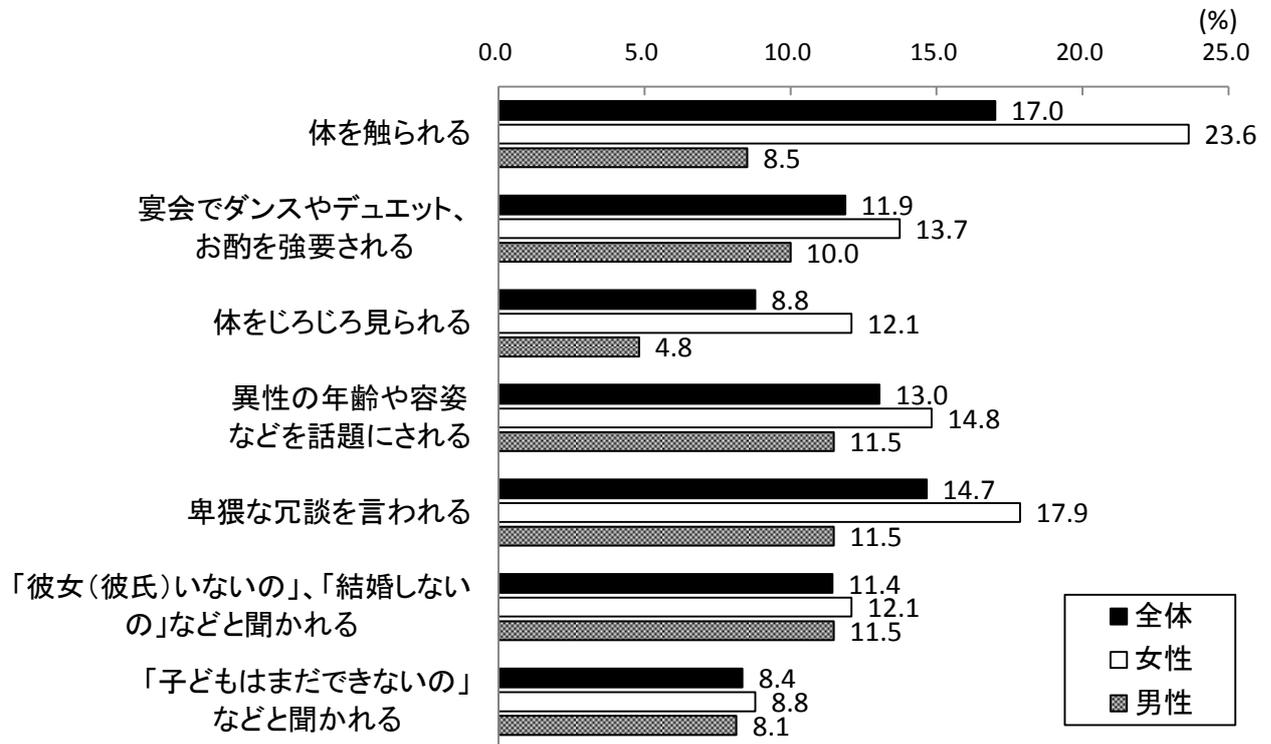
相談しない・しなかった理由で、全体では「相談しても無駄だと思うから」が31.8%と最も多く、性別による差は男性より女性の方が28ポイント多く差が最も大きい。これに対し、「自分(当事者)にも悪いところがあると思うから」では、男性が女性より18ポイント多くなっている。

(4)セクハラについて

①職場でセクハラだと感じたこと

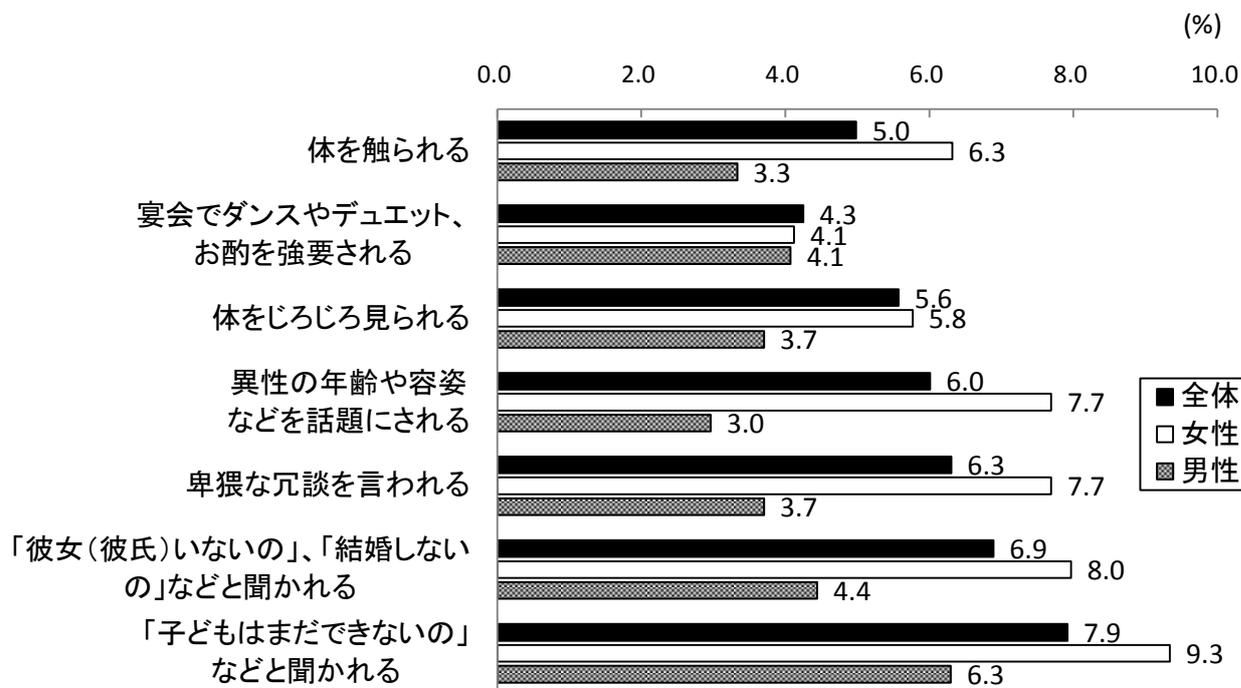
【全体・性別】

問9 あなたは、次のようなことでセクハラだと感じたことがありますか。またそれはどこで感じましたか。  
(1)～(7)のそれぞれについて、あてはまるもの全てに○をつけてください。(○はいくつでも)



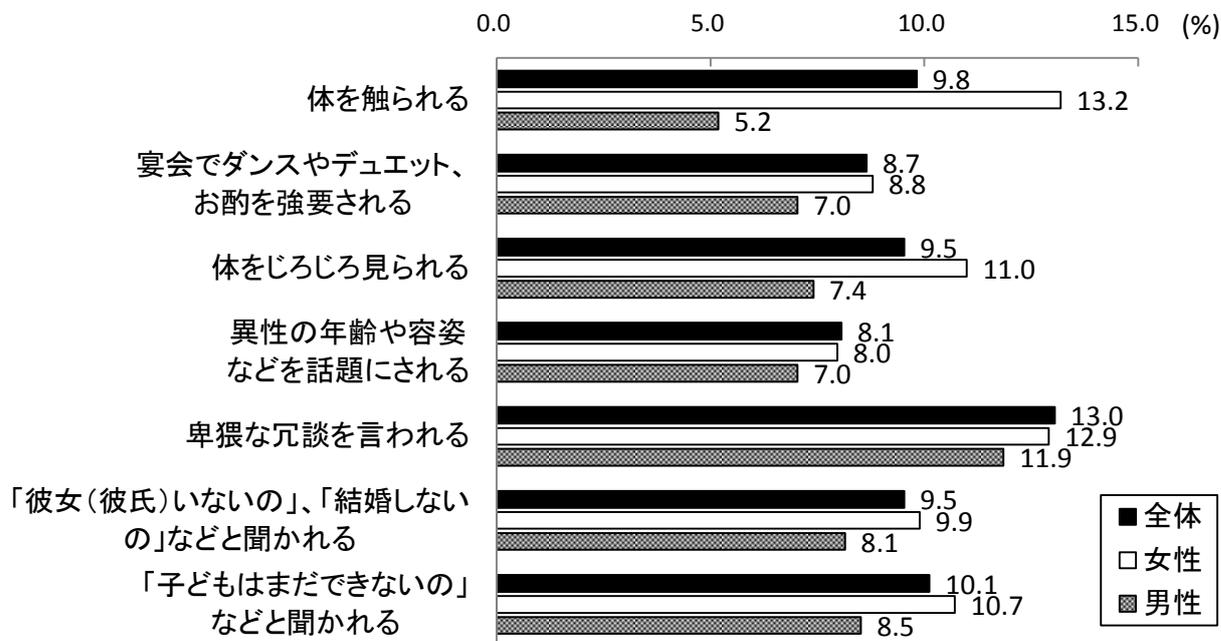
職場でのセクハラについて、全体で「体を触られる」が17.0%と最も多く、次いで「卑猥な冗談を言われる」が14.7%であった。全ての項目で女性が男性より多く、特に「体を触られる」、「体をじろじろ見られる」と身体に関する項目においては、性別の差が大きい傾向にある。

②地域でセクハラだと感じたこと  
【全体・性別】



地域でのセクハラについて、全体では「子どもはまだできないのなどと聞かれる」が7.9%と最も多く、男女ともに最も多い項目でもある。また、職場同様全ての項目で女性が男性より多く、性別による差も大きいことから、女性のほうが地域でセクハラを感じている傾向にある。

③その他  
【全体・性別】



その他(職場・地域以外)について、全体と男性は「卑猥な冗談を言われる」項目が最も多く、女性は職場同様、「体を触られる」が13.2%と最も多くなっている。